

「突発性難聴」の治療に適応 改善率を高める高気圧酸素療法

「突発性難聴」は前触れなく、左右の耳の一方や、ごくまれに両方の聞こえが悪くなる疾患です。症状や原因のほか、診断法、治療法について専門医に聞きました。

— 突発性難聴の症状や特徴は。

片方の耳または両耳が突然聞こえにくくなるのが特徴です。40〜60歳代に多く、男女差はありません。多くの場合、耳鳴りを伴い、約半数の方にめまいの症状が見られます。めまいの程度は、回転するような強いものから軽いふらつきまでさまざまです。放置すると高度の難聴や耳鳴りが後遺症として残る可能性があるため、症状が軽くても早めに受診することが推奨されています。

— 原因は。

明確な原因は分かかっていませんが、ストレスや過労による免疫力低下に伴うウイルス感染や、内耳の血流障

害などが関連している可能性が指摘されています。

— 診断法は。

発症時の状況や糖尿病、高脂血症、高血圧といった基礎疾患の有無を知ることが診断や治療法の決定に役立ちます。また、聴力検査や平衡機能検査、必要に応じて血液検査やレントゲン検査を行います。

— 治療法は。

ステロイドの内服や点滴が一般的です。できるだけ早期に健康保険適応の高気圧酸素療法を併用することで治療効果が期待でき、治療の選択肢として用いられることがあります。これは、2気圧の高気圧タンクの中で濃度100%の酸素を吸入し、血中酸素濃度を高め、内耳の血流を改善させる方法です。症状が気になる方は専門医を受診して、ご相談ください。複数回の実施が必要なため高額療養費制度の利用をおすすめします。詳しくは窓口でご確認ください。



松橋耳鼻咽喉科・内科クリニック
院長 松吉 秀武氏

松橋耳鼻咽喉科・内科クリニック

Matsubase Clinic

院長 松吉 秀武

診察時間	月	火	水	木	金	土
9:00~13:00	●	●	●	●	●	●
14:00~18:00	●	●	●	●	●	★

※月に1回 日曜診療(8:00~12:00)あり ★は 14:00~16:00

オンライン診療を
始めました

松橋耳鼻咽喉科 めまい

宇城市松橋町きらら2丁目2-15

TEL.0964-33-4133

医療用高圧酸素療法装置

われわれが生活している1気圧下では空気中の酸素濃度が約20%であるのに対し、医療用高圧酸素タンクの中は2気圧の状態、空気中酸素濃度が100%が高まり、神経機能の回復を促します。

TVモニター付き

TVや持参のDVDを観ながらリラックスして治療が受けられます。

